

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年10月17日 (2013.10.17)

【公開番号】特開2013-9839(P2013-9839A)

【公開日】平成25年1月17日 (2013.1.17)

【年通号数】公開・登録公報2013-003

【出願番号】特願2011-144621(P2011-144621)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月30日 (2013.8.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

大当りか否かの大当り判定の判定結果に基づき図柄を変動させて行う図柄変動ゲームを表示手段に表示し、この図柄変動ゲームにおいて大当り表示結果が導出されたのちに大当り遊技が付与される遊技機において、

前記大当り判定の判定結果に基づき前記表示手段を制御し、1回の図柄変動ゲームの表示中に前記図柄の変動表示を伴う変動サイクルを複数回にわたって表示させ、前記1回の図柄変動ゲームにおける変動サイクルの回数が多いほど大当り期待度が高くなる特殊変動演出を表示させる特殊変動演出制御手段と、

前記大当り判定の判定結果に基づき前記表示手段を制御し、前記図柄変動ゲームにおいてははずれ表示結果を導出させるとともに、その導出させたはずれ表示結果を構成する図柄を再変動させて最終的に大当り表示結果を導出させる特別演出を表示させる特別演出制御手段と、を備え、

前記特殊変動演出では、前記特殊変動演出を構成する変動サイクルのうち最終回となる変動サイクルの回数毎に、前記最終回の変動サイクルで最も表示させ易い特定リーチ演出が設定されており、

前記特殊変動演出制御手段は、1回の図柄変動ゲームで複数回の変動サイクルを表示させる場合、特定回数目の変動サイクルにおいて当該変動サイクルを最終回の変動サイクルとして仮定したときに表示され易い前記特定リーチ演出を実行させ、その特定リーチ演出の表示を経てはずれ表示結果を導出させた後、その導出させたはずれ表示結果を構成する図柄を再変動させて次回の変動サイクルを開始させるパターンにより前記特殊変動演出を表示させる制御を可能に構成されており、

前記特定回数目の変動サイクルにおいて、前記はずれ表示結果を導出させたのちに、その導出させたはずれ表示結果を構成する図柄を再変動させる第1契機は、前記特別演出において、前記はずれ表示結果を導出させたのちに、その導出させたはずれ表示結果を構成する図柄を再変動させる第2契機とは異なる契機に設定されていることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

上記課題を解決するために、請求項 1 に記載の発明は、大当りか否かの大当り判定の判定結果に基づき図柄を変動させて行う図柄変動ゲームを表示手段に表示し、この図柄変動ゲームにおいて大当り表示結果が導出されたのちに大当り遊技が付与される遊技機において、前記大当り判定の判定結果に基づき前記表示手段を制御し、1 回の図柄変動ゲームの表示中に前記図柄の変動表示を伴う変動サイクルを複数回にわたって表示させ、前記 1 回の図柄変動ゲームにおける変動サイクルの回数が多いほど大当り期待度が高くなる特殊変動演出を表示させる特殊変動演出制御手段と、前記大当り判定の判定結果に基づき前記表示手段を制御し、前記図柄変動ゲームにおいてははずれ表示結果を導出させるとともに、その導出させたはずれ表示結果を構成する図柄を再変動させて最終的に大当り表示結果を導出させる特別演出を表示させる特別演出制御手段と、を備え、前記特殊変動演出では、前記特殊変動演出を構成する変動サイクルのうち最終回となる変動サイクルの回数毎に、前記最終回の変動サイクルで最も表示させ易い特定リーチ演出が設定されており、前記特殊変動演出制御手段は、1 回の図柄変動ゲームで複数回の変動サイクルを表示させる場合、特定回数目の変動サイクルにおいて当該変動サイクルを最終回の変動サイクルとして仮定したときに表示され易い前記特定リーチ演出を実行させ、その特定リーチ演出の表示を経てはずれ表示結果を導出させた後、その導出させたはずれ表示結果を構成する図柄を再変動させて次回の変動サイクルを開始させるパターンにより前記特殊変動演出を表示させる制御を可能に構成されており、前記特定回数目の変動サイクルにおいて、前記はずれ表示結果を導出させたのちに、その導出させたはずれ表示結果を構成する図柄を再変動させる第 1 契機は、前記特別演出において、前記はずれ表示結果を導出させたのちに、その導出させたはずれ表示結果を構成する図柄を再変動させる第 2 契機とは異なる契機に設定されていることを要旨とする。